

ツアー参加者募集!

年齢・職業・語学レベル関係なく参加できます!

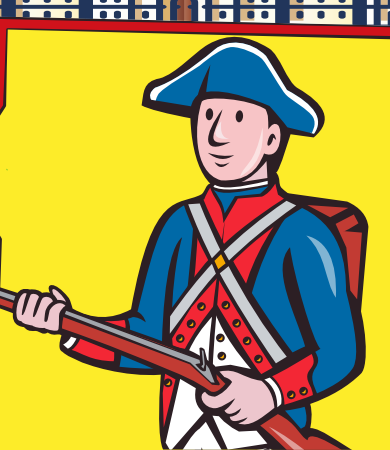
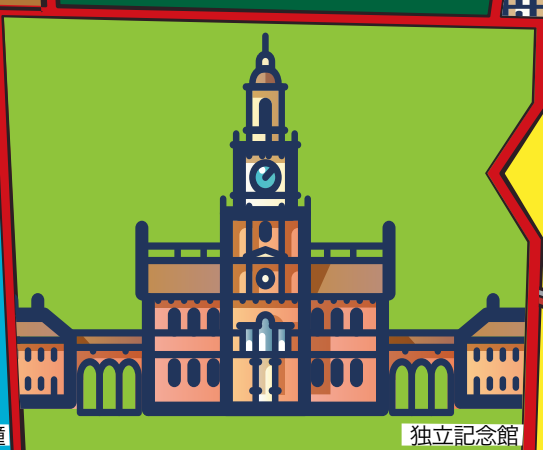
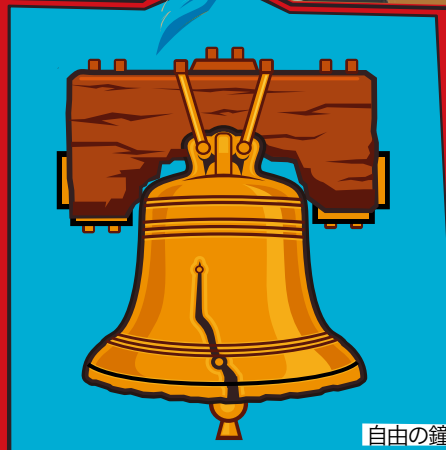
第33回日米草の根交流サミット2026

フィラデルフィア大会

米国独立250年記念

歴史の街フィラデルフィアで育む日米の友情と絆
Brotherly Love × Grassroots Friendship

ペンシルベニア州南東部“自由と平等”の象徴の街で文化交流



出発日: 2026年10月20日(火)

旅行期間: 2026年10月20日(火)~27日(火)[8日間]

主催者からのメッセージ



フィラデルフィア市長
シェレル・パーカー
Cherelle L. Parker

フィラデルフィア市を代表し、「日米草の根交流サミット」にご参加の皆様を心より歓迎いたします。日米両国の友情を深め、互いを結び続けてこられた皆様のご貢献に深く敬意を表します。

来年のサミットがフィラデルフィア日米協会（JASGP）の主催によりこの街で開催されることを大変光栄に思います。JASGPは「JapanPhilly2026」プログラムを通じて、日本の芸術、ビジネス、文化を広く紹介し、市内外の多様な団体と協力しながら、より豊かな交流の輪を広げています。

フィラデルフィアは、米国で初めて「世界遺産都市」に認定された歴史と多様性の街であり、世界の文化を尊重し学び合う国際都市として誇りを持っています。日本との長年にわたる友好関係と協力の歴史は、私たちにとってかけがえのない財産です。

神戸市との姉妹都市提携は2026年に40周年を迎え、同年は米国独立250周年の節目でもあります。1926年に日本から贈られた1,600本の桜は、毎春の花とともに両国の絆を象徴しており、JASGP主催の「スバル桜まつり」は数万人が集う市民の祭典として日米の友情を深めています。

皆様の大会の成功と充実した交流を心よりお祈り申し上げるとともに、ここ、歴史の都フィラデルフィアで皆様をお迎えできることを楽しみにしております。



在ニューヨーク
日本国総領事・大使
片平 聡
Satoshi Katahira

米国は2026年に独立250周年を迎えます。独立宣言が採択されたフィラデルフィアは、まさに米国独立の象徴ともいえる地であり、独立記念館や自由の鐘といった多くの史跡が訪れる人々に米国の独立への歩みを語り続けています。このような歴史的に意義深い場所において、日米草の根交流サミット大会が開催されますことを大変喜ばしく思います。

フィラデルフィアでの大会は、コロナ禍の影響により2020年には中止を余儀なくされておりましたが、この度、初めて開催が実現することとなったと伺っております。日本から参加される皆様には、米国建国の歴史を直接感じていただけることでしょう。

日米が長年培ってきた信頼関係は貴重な財産であり、この素晴らしい関係を更なる高みに押し上げていきたいと思っております。特に、混沌とした世界において、実際の人と人との交流を通じて相互理解を深める「草の根交流」の役割はますます重要になっています。大会の成功に向けて努力されている国際草の根交流センター（CIE）とフィラデルフィア日米協会（JASGP）の活動は、まさに日米を草の根レベルでつなげるものであり、そのご努力に心から敬意を表します。歴史と文化が息づくフィラデルフィアの地で、この大会を通じて皆様が日米間の友情を深め、思い出深い滞在となることをお祈り申し上げます。



フィラデルフィア
日米協会名誉理事
デニス・モリカワ
Dennis Morikawa

フィラデルフィア日米協会名誉理事として第33回日米草の根交流サミットが当地で開催されることを大変嬉しく思います。フィラデルフィアは米国初の世界遺産都市であり、世界中からの訪問者を歓迎しています。皆様も民主主義の発祥地を訪れ、地元の文化や食べ物を楽しんでください。

フィラデルフィアでの草の根交流サミット大会の開催は大変魅力的であり、日米両国の友好関係の絆を強固にすることでしょう。

皆様にお会いすることを心より楽しみにしております。

日米草の根交流サミット大会とは…

CIE が毎年日本とアメリカで交互に開催している1週間の国際交流イベント。日米両市民が言葉や文化を超えた友情を育む機会と場の提供を目的としています。第33回フィラデルフィア大会は、CIEとフィラデルフィア日米協会(JASGP)とで協力して運営されます。

公益財団法人ジョン万次郎ホイットフィールド記念 国際草の根交流センター(CIE)

CIEは、ジョン万次郎と彼を救助し米国で教育の機会を与えたホイットフィールド船長、また彼らの子孫の180年以上継続する友情を原点到、日米の市民が相互理解と親交を深め、友情を育む草の根交流を促進しています。

写真提供：CIE

friendship



ジョン万次郎



ホイットフィールド船長

サミット大会の4つの特徴

- 1 年齢に関わりなく、どなたでも参加できる!
- 2 英語レベルは関係なし!
- 3 ホームステイと地域住民との温かな交流を体験!
- 4 日本全国からの参加者とも友達になれる!

日米草の根交流サミットの3つの交流イベント

オープニング式典と 歓迎レセプション



日本からの参加者、開催地の来賓、ボランティアなど運営に携わる方たちが参加。歓迎の挨拶や講演などで構成される式典の後、歓迎レセプションで開始を祝い、ここから交流が始まります。

地域分科会 (ホームステイプログラム)



いくつかの地域に分かれてそれぞれ個性あふれる3泊4日の分科会に参加。ホームステイを通して、ホストファミリーやボランティアとじっくりと草の根交流を深めます。
※分科会は、すべて無償ボランティアが運営します。

クロージング式典と フェアウェル・パーティ



ホストファミリーやすべての関係者が参加する締めめのプログラム。ここでしばしのお別れとなりますが、本当の交流はここからがスタートです。
※希望する方は、大会後のポスト・サミット・プログラムにも参加可能です。

日米草の根交流サミットは、

35年続いており、

参加者総数は

55,000人を
超えました

※2020～2022年の
オンライン交流及び小布施大会、
父島フォーラムを含む



フィラデルフィア ～ City of Brotherly Love ～ ウィリアム・ペンが描いた理想郷

2026年—独立250年を迎えるアメリカ・フィラデルフィア
独立宣言と憲法が生まれたこの街には、今は鳴らぬ「自由の鐘」が静かに佇みます。
その沈黙は、かつて響いた自由への誓いを今も語りかけるよう。
ギリシャ語で「兄弟愛」を意味する名を授けたウィリアム・ペンの理想——
宗教も人種も越え、共に生きる世界を願う心が、この街の空気にも息づいています。
※ウィリアム・ペンの銅像はフィラデルフィア市庁舎塔の上から市街を見守っています。

サミット大会日程 (日程は変更する場合があります)

日	時間	場所	スケジュール	食事
10/20(火)	午前 午後	NH110/JL006 羽田 ニューヨーク	羽田 発、空路經由便にてニューヨークへ 日付変更線通過 ニューヨーク空港(JFK)着、バスでフィラデルフィアのホテルへ 【ウィングダム・フィラデルフィア・ヒストリック・ディストリクト泊】	機機
10/21(水)	午前 11～14時 午後	フィラデルフィア	歴史ウォーキングツアー オープニング式典・ウェルカムレセプション ローゼンバック博物館・図書館「漂異紀 ^{ひょういし} 著: キューリン本」見学 自由行動 【ウィングダム・フィラデルフィア・ヒストリック・ディストリクト泊】	朝 [◎] 昼
10/22(木)	午前 午後	フィラデルフィア 地域分科会	バスまたはホスト出迎えにより地域分科会へ出発 地域分科会プログラム 【ホームステイ】	朝 [※]
10/23(金)	終日	地域分科会	地域分科会プログラム 【ホームステイ】	[※] [※] [※]
10/24(土)	終日	地域分科会	ホストファミリーと過ごす1日または地域分科会 【ホームステイ】	[※] [※] [※]
10/25(日)	午前 12～15時 午後	地域分科会	ホストファミリーとの時間 ホストファミリーの車でホストファミリーと式典会場へ クロージング式典・フェアウェルパーティ バスまたはホストファミリーとホテルへ 自由行動 【ザ・イン・アット・ヴィラノバまたはザ・ラドナー ホテル泊】	[※] 昼
10/26(月)	朝 午前	NH109/JL005 ニューヨーク	バスでニューヨーク空港(JFK)へ 空路直行便で羽田へ ポスト・サミット・オプションプログラムに 参加される方は、そのプログラムに準じます 【機内泊】	朝機
10/27(火)	午前 午後	羽田	羽田 到着後解散	機

- 食事について ホームステイ中の食事(※印の食事)は、地域分科会とホストファミリーから提供される場合もあります。
10/21と10/25の昼食(◎印の食事)はフィラデルフィア日米協会のご招待です。
- 時間帯目安 〈朝〉5時～8時 〈午前〉8時～12時 〈午後〉12時～16時 〈夕刻〉16時～20時 〈夜〉20時～
- 航空会社 NH:全日空 JL:日本航空
- ※10/22～25の地域分科会はCIE及びJASGPの手配です

フィラデルフィア 情報

- フィラデルフィア市人口:約160万人(アメリカ8位)
- 10月の気候:平均気温20℃/11℃(東京=22℃/15℃)平均降雨日数7日(東京=8日)
- 買い物にかかる税:(フィラデルフィア市内):8%(州税6%含む)
※\$100以下の衣類(靴含む)、食品*、処方・市販薬は非課税
*但し、サンドイッチなどすぐに食べられるものは課税対象(2025年9月現在)

10/21 (水)

オープニング式典・歓迎レセプション



at **インディペンデンス・ビジター・センター 〈リバティ・ビュー〉**
The Liberty View at Independence Visitor Center

リバティ・ビューと呼ばれる会場は、フィラデルフィア歴史地区の中心に位置するインディペンデンス・ビジター・センター内にあります。そのテラスから広がる独立記念館の素晴らしい眺望を前に、オープニング式典で米国独立 250 年と草の根交流の開始を祝います。

10/25 (日)

クロージング式典・フェアウェルパーティ



at **ザ・イン・アット・ヴィラノヴァ**
The Inn at Villanova University

会場となる施設を所有するヴィラノバ大学は、1842 年創立の名門カトリック大学で、人間形成を重視したリベラルアーツ教育を実践。現ローマ教皇レオ 14 世の母校としても知られ、世界から注目を集める存在です。サミット最終日、日本とフィラデルフィアの友好の歴史に触れながら、ホストファミリーやボランティアと最後のひとときを過ごします。

宿泊ホテル紹介

全て洋室：ツイン / シングル・シャワー・トイレ付き (バスタブ付きの場合もありますがお選びいただけません)

10/20 & 21 泊

ウィンダム・フィラデルフィア・ヒストリカル・ディストリクト
Wyndham Philadelphia Historical District

フィラデルフィア旧市街の中心にあり、ホテル周辺は、「アメリカで最も歴史ある区画」と呼ばれています。徒歩圏内には、歴史的な名所が点在し、多彩なレストランでの食事やオーケストラ鑑賞、ショッピングも数ブロック内で満喫できます。

400 Arch St, Philadelphia, PA 19106 Tel: +1-215-923-8660



10/25 泊

ザ・イン・アット・ヴィラノバ
The Inn at Villanova University

1914 年に完成した石造りの邸宅を改築したヴィラノバ大学の宿泊施設。美しいアーチや精巧な装飾が魅力です。



601 County Line Rd, Wayne, PA 19087
Tel: +1-610-519-8000

または **ザ・ラドナー ホテル**
The Radnor Hotel

フィラデルフィア郊外の緑に囲まれた静かな環境と温かなホスピタリティが魅力。上品で落ち着いた雰囲気を楽しめます。



591 E Lancaster Ave., St. Davids, PA 19087
Tel: +1-610-688-5800

10/21 (水)



午前 歴史ウォーキングツアー フランクリンの足跡と知の遺産を巡る

アメリカ独立の原点・フィラデルフィア。自由と民主主義の理念が芽吹いた場所であり、また、知識人ベンジャミン・フランクリンが活躍した“市民の知恵の都”です。独立宣言の舞台となった街並みを歩きながら、フランクリンの精神とともに、1860年に訪れた遣米使節団らが残した日米交流の足跡もたどりましょう。

【訪問先】※天候や諸事情により変更する場合があります。

- ・フランクリン・コート (印刷所・郵便局・博物館)
- ・Atheneaeum フィラデルフィア図書館
- ・独立記念館 (インディペンデンス・ホール)
- ・自由の鐘 (リバティ・ベル)
- ・ベッツィー・ロスの家
- ・造幣局 など



エルフレス路地 ©PHLCVB



自由の鐘



ベッツィー・ロスの家

正午 オープニング式典・歓迎レセプション

250年前に独立宣言が公表された独立博物館前の広場にあるビジターセンターで、日米草の根交流サミットの開始が宣言されます。



オープニング式典 (オハイオ大会)



大統領邸宅跡と独立記念館 ©PHLCVB

午後 『^{ひょうそんきりやく}漂翼紀畧』 見学

ローゼンバック博物館図書館
Rosenbach Museum & Library



ローゼンバック博物館所蔵の万次郎の漂流の様子を記す『漂翼紀畧』の写本の一つ、「キューリン本」が、このフィラデルフィア大会で特別公開されます。専門学芸員に解説頂く予定です。
協力：ローゼンバック博物館図書館

『漂翼紀畧』は、万次郎の漂流と海外体験を記録し、日本で初めてアメリカを伝えた貴重な書物です。明治以降「幻の書」となりましたが、1912年に再発見されました。現在はフィラデルフィアのローゼンバック博物館に収蔵され、世界に当時のアメリカを紹介した重要資料として高く評価されています。



^{ひょうそんきりやく}
『漂翼紀畧 全現代語訳』 講談社学術文庫
ジョン万次郎 述 / 河田小龍 記
谷村鯛夢 訳 / 北代淳二 監修

10/22(木) ~ 25(日)

地域分科会 (ホームステイプログラム)

コミュニティや
家族単位で
心温まる交流を!



2025年サンフランシスコ大会地域分科会の様子



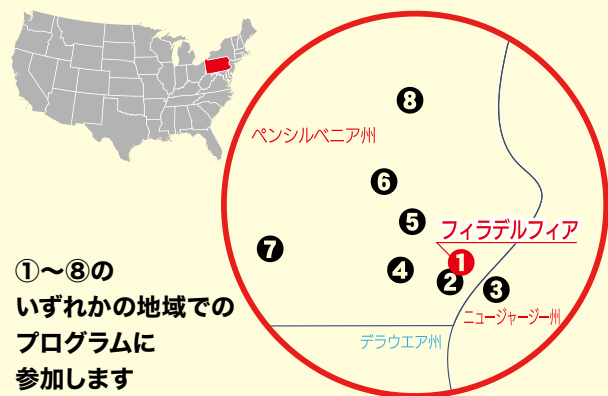
分科会プログラムでは、ホームステイをしながら地元の人だけが知る地域の文化や歴史に触れることができます。

どのプログラムもその地域ならではの工夫に満ちています。

また、ホストファミリーや地域ボランティアとのコミュニケーション(言葉だけとは限りません)は、異なる国の人々のメンタリティを理解し、自らの文化を再発見するきっかけになります。

※ホストファミリーはすべて無償のボランティアです。

※ホームステイは1家族につき1名を基本としますが、受け入れ家庭の事情によりその限りではありません。また、親子やご夫婦での参加など、一緒に滞在を希望される場合は申込書よりお申し出ください。



①~⑧の
いずれかの地域での
プログラムに
参加します

1 フィラデルフィア・センターシティ

Philadelphia Center City

1776年の独立宣言から、2026年に建国250年を迎える自由の精神が息づく歴史の街。独立記念館や憲法センターをはじめ多くの史跡が残り、美術など芸術も豊か。街を歩けば、建国の理想と誇りを感じられます。



【コーディネーター】
カズミ・チューニー
Kazumi Teune

東京出身でフィラデルフィア在住40年以上。日米協会専務理事として文化交流に尽力しています。日本庭園のある松風荘や桜まつりを通じて、多くの人々に日本文化を届けています。皆さまを心より歓迎します。

2 サウス・フィラデルフィア

South Philadelphia

ここは人々の温かさや活気に満ちた街。移民が築いた歴史と多彩な文化が息づき、イタリアンマーケットや屋台の香りが人々をつなぎます。地域の絆が強く、訪れる人も家族のように迎えてくれる場所です。



【コーディネーター】
デイビッド・ブリエル
David Briel

長年にわたりペンシルベニア州と海外との経済・文化交流に携わってきたデイビッドです。国際的なつながりを通して地域の発展に貢献し、人と人の絆を深める活動に情熱を注いでいます。皆さまとの出会いを楽しみにしています。



フランクリン・スクエア・PHLCVB



サウス・フィラデルフィア 多国籍レストラン街・PHLCVB

3 サウス・ジャージー (ニュージャージー州)

South Jersey

農場や小さな町が広がり、名産のトマトやリゾート地ケーブメイでも知られています。野鳥や蝶の渡りが見られる自然豊かな地で、伝説の“ジャージーデビル”が棲むとされる森も残る、歴史と物語に彩られた地域です。



【コーディネーター】
デイビッド・ジェーンズ
David Janes

長年にわたり日米交流と教育活動に尽力してきたデイビッドです。多様な分野で架け橋となり、次世代育成にも力を注いでいます。今回皆さまと新たな交流の一步を築けることを心から楽しみにしています。

4 スワースモア

Swarthmore

スワースモア周辺は、全米最大の庭園ロングウッドガーデンや自然あふれるアメリカ風景画を展示するブランディワイン美術館が有名です。アーミッシュの田園風景から多彩な国の料理まで、アメリカの豊かな暮らしを味わえる地域です。



【コーディネーター】
スー・ラスロフ
Sue Lathrop

幼少期に世界各地で暮らし、日本でも英語教育に携わりました。園芸や芸術を通じた交流を大切に、スワースモアで自然と人をつなぐ活動を続けています。皆さまと心温まる時間を分かち合えることを楽しみにしています。

5 メインライン

Main Line

フィラデルフィア郊外に広がる由緒ある高級住宅街。19世紀の鉄道開通とともに発展し、緑豊かな街並みと洗練された文化が息づきます。名門大学や美しい邸宅が並ぶ、気品と歴史が調和する魅力的な地域です。



【コーディネーター】
マサコ・ハマダ
Masako Hamada

ヴィラノヴァ近郊に35年以上暮らしています。大学で教鞭をとった長年の教育経験を生かし、日米の文化交流を楽しみながら皆さまを温かくお迎えします。



【コーディネーター】
フミヨ・バッタ
Fumiyo Batta

神戸出身で米国在住50年。オペラ歌手としての経験を生かし、音楽と文化を通じて日米交流に携わっています。皆さまとお会いできるのを楽しみにしています。



【コーディネーター】
テレサ・カーニー
Theresa Carney

名古屋出身。JASGP 役員として日本文化と芸術の魅力を伝える活動を通じて、日米の交流に力を注いでいます。皆さまと出会い、学び合えることを楽しみにしています。

①～⑧のいずれかの地域でのプログラムに参加します



アーミッシュ・ヴィレッジ (CIE)



ラドナー・ヴァレー・カントリークラブ (JASGP 提供)



6 ノース・ウェールズ&グリーン・レーン

North Wales & Green Lane

フィラデルフィア郊外に広がる住宅街と自然が調和した地域です。公園や農場では季節ごとに催しが行われ、秋には感謝祭やハロウィンなど地域ならではの祭りも楽しめます。多種多様なアメリカ文化を体感できます。



【コーディネーター】

ユカ・ウサミ

Yuka Usami

名古屋出身。渡米 15 年、文化の違いを楽しみながら暮らしています。皆さんと新しい発見を共有できるのを楽しみにしています。



【コーディネーター】

マスミ・ウェッチェン

Masumi Wetjen

倉敷出身。2000 年より家族とフィラデルフィア在住。趣味は茶道や書道など。夫婦で日本の皆さまと歴史文化を学び合える日を楽しみにしています。



【コーディネーター】

ノリコ・コイル

Noriko Coyle

大阪出身。音楽や料理など多趣味で、家族と犬と共に暮らしています。皆さまに少しでもアメリカ体験をお届けできることを心より楽しみにしています。

7 ランカスター

Lancaster

モダンなレストランや劇場が並ぶ都会的魅力と、アーミッシュの馬車や農場に象徴される伝統文化が共存する地域です。田園風景と活気ある食文化が織りなす、多彩で魅力あふれる街の姿を体感できます。



【コーディネーター】

サチコ・ハウク

Sachiko Houck

福岡出身で、現在はランカスター在住のサチコです。20 年以上勤務した看護師を退職後、家族と共に地域に暮らし、裏千家淡交会フィラデルフィア幹事長として茶道を各地で指導・紹介しています。皆さまと交流できるのを楽しみにしています。

8 ベツレヘム

Bethlehem

山や川に恵まれた自然豊かな地で、州立公園や遊園地など多彩な楽しみがあります。かつて製鉄業で栄え、ベツレヘムには 18 世紀に入植したモラヴィア人の歴史的建物も残り、自然と文化の両面で魅力あふれる地域です。



【コーディネーター】

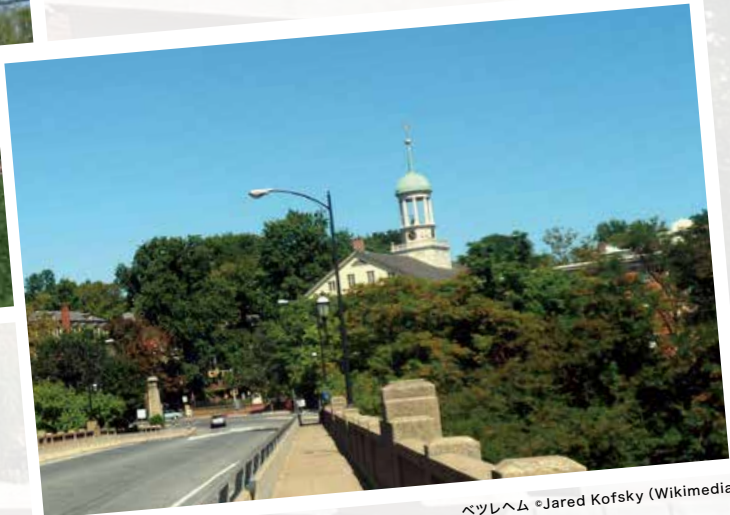
マイク・ルイス

Mike Lewis

JASGP プログラムマネージャーのマイクです。2024 年和歌山大会に参加したご縁から、再び皆さまと交流できることを嬉しく思います。現在は妻と娘と共に故郷ベツレヘムに暮らしています。美しいリーハイバレーの魅力をご紹介しますのを楽しみにしています。



スワースモア大学 パリッシュホール (Wikimedia)



ベツレヘム ©Jared Kofsky (Wikimedia)



10/26 (月) ~

追加プラン ポスト・サミット・オプション・プログラム

OP.1



JAL便利用の方限定

10/26 (月) ~ 30 (金)

万次郎とペリー提督の足跡残る地でホームステイ (2泊) ボストン (1泊)

万次郎を助けたホイットフィールド船長の故郷、フェアハイブンに残る「万次郎トレイル」を辿り、万次郎の足跡をめぐる。また、ほど近いペリー提督ゆかりの地、ロードアイランド州プリズトルでは、ペリー家の歴史に触れます。最後の夜は、古都ボストンで過ごします。

協力：万次郎・ホイットフィールド・フレンドシップ協会、南ニューイングランド日米協会、ボストン日本協会

- オプション1 旅行代金 + ¥129,800 ※ホテルを1名1室で利用する場合、¥40,000の追加 大人子ども同額
- 含まれるもの：フィラデルフィアからボストンまでの交通費、食事代金 (日程表に記載された食事)、ボストン市内ホテル宿泊費
- 含まれないもの：路線バスの代金、ホームステイ中の観光代金・交通費、クリーニング代、電話代、飲食代など個人的性格によるもの ●定員：12名 最少催行人員6名 ※ボストン市内ホテル：ヒルトン・ボストン・パーク・プラザ (2名1室利用、洋室：ツイン/シングル・シャワー (バスタブ付きの場合もあります)・トイレ付 ※添乗員は同行しません

OP.2



ANA便利用の方限定

10/26 (月) ~ 29 (木)

サミット同窓生が集うヴァージニアでホームステイ (2泊)

ヴァージニアは日本開催のサミット大会の参加者が特に多い地域。「カントリーロード」で有名なウェストバージニア/バージニア州で、アメリカ人サミット同窓生たちとの心温まる交流をお楽しみください。協力：Ms.Taeko Floyd & Ms.Naoko Hoshi Aschman

- オプション2 旅行代金 + ¥68,000 大人子ども同額 ●含まれるもの：フィラデルフィアからバージニアまでの交通費
- 含まれないもの：ホームステイ中の観光代金・交通費、クリーニング代、電話代、飲食代など個人的性格によるもの
- 定員：10名 最少催行人員6名 ※添乗員は同行しません

OP.3



JAL便利用の方限定

10/26 (月) ~ 29 (木)

ニューヨーク・シティ フリー (2泊)

「眠らない街」とも呼ばれ、世界中の人々を惹きつけるニューヨークへ寄りたい方にお勧めです。ブロードウェイのエンターテインメントや自由の女神の観光など、自由な時間をお楽しみください。

- オプション3 旅行代金 + ¥128,000 ※ホテルを1名1室で利用する場合、¥88,000の追加 大人子ども同額
- 含まれるもの：フィラデルフィアからニューヨーク Penn Stationまでの交通費、ニューヨーク市内ホテル宿泊費、食事代金 (日程表に記載された食事) ●含まれないもの：自由行動中の交通費、クリーニング代、電話代、飲食代など個人的性格によるもの
- 最少催行人員：6名 ※ニューヨーク市内ホテル：ニューヨーク・マリオット・マーキス (2名1室利用、洋室：ツイン/シングル・シャワー (バスタブ付きの場合もあります)・トイレ付 ※添乗員は同行しません

サミット参加者の感想 (2025年サンフランシスコ大会)

長岡眞理子さん 地域分科会:サウスベイ ホストファミリー:Tran家

初めての参加でしたが、心に残る学びと出会いに満ちた素晴らしい体験となりました。セレモニーで感謝の言葉を伝えそびれたことから、自分の思いを積極的に表す大切さを改めて感じました。ステイ先では、ホストファミリーの次女さんの卒業式に参加し、まるで映画のような青春の一場面に胸が熱くなりました。忙しい中で温かく迎えてくださったMelanieさんのTranご一家には、心から感謝しています。人とのつながりは「お互いを知らう」という思いから生まれるものだと実感しました。参加者の皆さんとの交流を通じて、自分の心の扉が大きく開かれていくような、かけがえない時間でした。



サミット後にもっとアメリカの文化を知るプログラム!

※ホストファミリーは無償のボランティアです。

日程		予定	宿泊先	食事
10/26 (月)	午前 午後	陸路(列車) プロヴィデンスへ ホストファミリーと対面	ホームステイ	朝○ 昼○ 夕※
10/27 (火)	終日	万次郎トレイル〜ペリー邸宅見学他	ホームステイ	朝※ 昼※ 夕※
10/28 (水)	午前 午後	路線バス プロヴィデンスからボストンへ ボストン市内散策	ホテル泊	朝※ 昼× 夕×
10/29 (木)	午後	空路 日本へ	機内	朝× 昼× 機内食
10/30 (金)	午後	成田着		

食事回数：朝1回 / 昼1回 / 夕0回 (機内食を除く) ※プログラムや受け入れ家庭によって提供がある場合があります。
※の食事はホストファミリーから提供されます

日程		予定	宿泊先	食事
10/26 (月)	午前 午後	陸路(バス) バージニアへ ホストファミリーと対面	ホームステイ	朝○ 昼× 夕※
10/27 (火)	終日	ホストファミリーとの一日	ホームステイ	朝※ 昼※ 夕※
10/28 (水)	午前 午後	ホストファミリーと共にダレス国際空港へ 空路日本へ	機内	朝※ 昼× 機内食
10/29 (木)	午後	羽田着		

食事回数：朝1回 / 昼0回 / 夕0回 (機内食を除く) ※プログラムや受け入れ家庭によって提供がある場合があります。
※の食事はホストファミリーから提供されます

日程		予定	宿泊先	食事
10/26 (月)	午前 午後	陸路(列車) ニューヨーク市内へ 自由行動	ホテル泊	朝○ 昼× 夕×
10/27 (火)	終日	自由行動	ホテル泊	朝× 昼× 夕×
10/28 (水)	午前 午後	各自フライトに合わせて各出発空港へ 空路日本へ	機内	朝× 昼× 機内食
10/29 (木)	午後	羽田または成田着		

食事回数：朝1回 / 昼0回 / 夕0回 (機内食を除く)

ESTA(電子渡航認証)の申請について

ビザ免除プログラム・ESTA(エスタ)とは

ESTA (エスタ) とは、ビザ免除プログラムを利用してアメリカに90日以内の短期旅行(観光や商用など)で渡航する際に、事前にオンラインで申請する必要がある電子渡航認証システムです。一定の条件を満たしている方は事前に米国政府の電子渡航認証(ESTA)を取得することで、無査証(ビザ無し)で米国に入国できます。ESTAは、登録料金40ドル(2025年11月現在)をクレジットカード決済で、ご自身でホームページから取得することができます。

申し込みはオンラインで!



申請は、国土安全保障省は渡航に先立ち、少なくとも72時間前までの申請を推奨しています。米国への渡航前であればいつでも可能ですので、お早めに申請ください。渡航認証の有効期間は、取り消されない限り、承認された日から2年間、あるいはパスポート失効日までのいずれか、先に到来した日までです。

旅行代金

旅行代金 (羽田空港発着：全日空/日本航空 エコノミークラス利用)
 ホテル3泊2名1室利用または相部屋による2~3名1室利用

利用航空会社	利用空港	早期申込割引 5月31日までの 適用旅行代金	6月1日以降申込の 適用旅行代金
全日空	羽田	¥399,000	¥409,000
日本航空	ニューヨーク (JFK)	¥426,000	¥436,000

●燃料サーチャージ(目安：日本航空50,000円全日空55,000円)・国内空港施設利用料(羽田空港2950円)・国際観光税(1,000円)・海外空港滞税(11,540円)・航空保険料(日本航空1,100円・全日空1,600円)が別途必要です。旅行代金お支払い時に合わせてお支払いください。上記の換算額は、1ドル=156円(2025年11月28日現在)を基準にしています。
 ※原油価格の変動により金額が変更されることがあります。また為替レートが大きく変動する可能性があります。

- ◇ **最少催行人員 65名** (各航空会社選択プランの合計)
- ◇ **募集人員 80名** (申込先着順により締め切ります)
- ◇ **一人部屋追加代金 56,000円** (3泊分)/ホテル部分のみ
 ※ホテル宿泊は相部屋をお受けします。
- ◇ **出発・到着地 羽田空港**
 羽田空港までの日本国内移動・前泊・後泊は別途料金が必要です。
 詳しくは近畿日本ツーリストにお問い合わせください。

◇ ビジネスクラス往復追加代金

別途、近畿日本ツーリストにご相談ください。旅行代金を記載した説明書面をご案内しますので、ご確認のうえお申し込みください。

◇ **添乗員**：同行しません。ニューヨーク空港で現地係員がお出迎え後、7日目空港までご案内します。

【旅行代金に含まれるもの】

①航空運賃：日程表に記載された区間(エコノミークラス)②宿泊料金(ホテル3泊分)③食事代金：日程表に記載された食事(朝食3回分)④日程表に記載されている団体行動中の交通費 ⑤観光代金：日程表に記載されている団体行動中の入場料・ガイド費用⑥団体行動中の税金・チップ⑦手荷物運搬代金(運輸機関の規定内手荷物料金)⑧添乗員費用

【旅行代金に含まれないもの】

前項のほかは旅行代金の中に含まれていません。その一部を例示します。
 ①クリーニング代、電報・電話代、飲食代等の個人的性格の費用②集合場所までの交通費③旅券印紙代・証紙代④手荷物超過料金⑤傷害、疾病に関する医療費⑥任意の海外旅行傷害保険料⑦燃料サーチャージ・航空保険料、羽田空港施設利用料・国際観光税、現地空港滞税⑧渡航手続き料金

お客様の状況によっては、当初の手配内容に含まれていない特別な配慮、措置が必要になる可能性があります。詳細は「旅行条件書」の「申込条件」を確認のうえ、特別な配慮・措置が必要となる可能性がある方は、ご相談させていただきますので、必ずお申し出ください。

学生 小児等の旅行代金

子ども・学生割引

10,000円引き

出発日の満年齢が2歳以上の子ども、小中高生および25歳までの学生は、お一人につき上記の金額を割引します。※早割と合わせて適用できます。

幼児の旅行代金

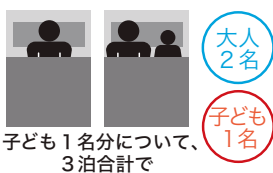
出発日の満年齢が2歳未満で飛行機の座席を使用せず、ホテルでは大人と添い寝する場合は、旅行代金は**35,000円**となります。
 (各航空会社利用プラン共通) ※座席を利用する場合は、キッズ添い寝プランとなります。

キッズ添い寝プラン

2~11歳のお子様在同一ベッドで添い寝することによって運用されるのが「キッズ添い寝プラン」です。下記の場合に限り、旅行代金からそれぞれの金額をお引きします(サミット大会中のホテルの宿泊は3泊です)。

※「子ども・学生割引」との併用はできません ※早割と合わせて適用できます。

部屋利用Aタイプ

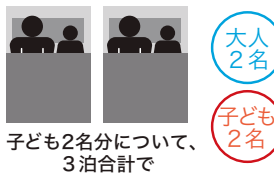


子ども1名分について、3泊合計で

1室あたり添い寝1名様の場合

30,000円引き

部屋利用Bタイプ



子ども2名分について、3泊合計で

1室あたり添い寝2名様の場合(おひとり様25,000円引き)

50,000円引き

取消料

旅行開始日の前日から起算してさかのぼって30日目から3日目までの取消	旅行代金の 20%
旅行開始日の前々日以降旅行開始までの取消	旅行代金の 50%
旅行開始後の取消または無連絡不参加の場合	旅行代金の 全額

※詳しくは募集要項・ご旅行条件書をご参照ください。

❗ 海外旅行傷害保険に必ずご加入ください

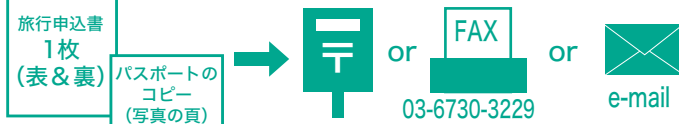
万が一現地でケガや病気になった場合や、ホテルの高価な調度品を壊してしまった場合等、海外旅行傷害保険に入っていれば日本語で24時間対応してくれます。ご自身で入られても、近畿日本ツーリストに申し込まれてもOKです。必ず出発前までにご加入ください(クレジットカードに付加されている海外旅行傷害保険では携行品損害の対応がない等、不十分です。くれぐれもご注意ください)。

❗ 注意事項 必ずご確認ください!

1. 旅券(パスポート)
参加者は、帰国時まで有効な旅券を持っていることが必要です(ただし、入国時90日以上が望ましい)。現在お持ちの旅券が今回の旅行に有効かどうかの確認、旅券申請等は参加者各自の責任で行ってください。
2. ESTAアメリカ入国の際、DENNHSI渡航(ESTA)が必要となります。
くわしくは「ESTAの申請について」(P11)をご確認ください。
3. 米国では、ホテルやレストラン等多くの人が集まる場所は、ほとんどが禁煙です(航空機内は全てが禁煙)。
4. ホームステイ等の関係から、健康状態に不安のある方や集団行動が難しい方については、参加をお断りする場合があります。あらかじめご了承ください。!

お申込み方法

1 別紙の「旅行申込書」の表と裏の両方に全て記入し、パスポートのコピー(顔写真の頁)とともに、近畿日本ツーリストへFAXもしくは郵送でお申込みください。FAXの場合、必ず表と裏の両面を送信してください。または、e-mailに記入済みの申込書(表と裏)とパスポートコピーを添付してtourdesk03@or.knt.co.jpまで送信してください。



2 旅行申込書を受領後、申込金おひとりさまあたり¥50,000の請求書が近畿日本ツーリストより発行されます。申込金は旅行代金の一部として取り扱います。残金は後日、旅行出発の約1ヶ月前に請求されます。請求書記載の期日までにお振込みください。
 ※幼児については、申込金は、頂戴いたしません。残金と一緒に旅行代金全額をお支払いください。

申込締切日

2026年7月15日必着、または募集人員に達した時
 ※締切後のお申し込みについてはお問い合わせください

ご不明な点があれば、お気軽に近畿日本ツーリストにお問い合わせください。

お申込み・お問い合わせ

旅行の申込、キャンセル、旅程関連、旅行代金等に関するお問い合わせ

近畿日本ツーリスト株式会社トラベルサービスセンター 東日本

〒135-0062 東京都江東区東雲1-7-12 KDX豊洲グランスクエア3F 担当：日米草の根交流サミット係

TEL：03-6730-3220

FAX：03-6730-3229

E-mail：tourdesk03@or.knt.co.jp

営業日・営業時間：月～金 10:00～17:00

※土日祝日休み

お取消・ご変更のご連絡が休業日・営業時間外の場合は、翌営業日の扱いとなりますので、予めご了承ください。
 ●総合旅行業務取扱管理者：黒田和幸・木下智幸
 ●総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。このご旅行の契約に関し担当者からの説明にご不明な点がございましたらご遠慮なく旅行業務取扱管理者にご質問ください。

旅行企画・実施：近畿日本ツーリスト株式会社 横浜支店

観光庁長官登録旅行業2053号

ボンド保証会員 旅行業公正取引協議会会員

〒221-0052 横浜市神奈川区栄町3-4 パシフィックマークス横浜イースト4階



一般社団法人
日本旅行業協会



旅行業公正取引
協議会 会員

大会企画・運営

日米草の根交流サミット大会企画 & お問い合わせ
 サミット大会のプログラム内容に関する

公益財団法人 ジョン万次郎ホワイトフィールド記念
国際草の根交流センター(CIE)

TEL：03-3511-7171

FAX：03-3511-7175

E-mail:manjiro@manjiro.or.jp

http://www.manjiro.or.jp

@manjiro.grassroots